



木のわきぼくし おぼ
木ノ脇牧師を覚えて

ちいろば会理事長 大澤 星一

4月末、そろそろ『ちいろばだより』の巻頭言を書かなきゃと思い、5月の連休に西大和教会が属している日本基督教団大阪教区の定期総会があるので、その後に書こうと思っていたら、4日の夜に木ノ脇悦郎牧師が亡くなった。

木ノ脇牧師は長らくちいろば会の理事としてご奉仕下さり、またこの『ちいろばだより』の巻頭言も担当して下さいました。

12年前の2012年に理事長の古館さんが亡くなり、一昨年の2022年に高見敏雄牧師が亡くなり、昨年高見まり子さんが亡くなり、そして木ノ脇牧師が亡くなった。命ある存在にはすべて等しくその終わりがあって、いつかは誰もが死ぬ。それを分かっているつもりでもやっぱりお別れは悲しく淋しい。

葬儀のお手伝いをさせていただいた中で、木ノ脇牧師のいろいろな思いが書かれたノートがあって、それを読ませてもらった。戦争のこと、差別のこと、家族のことや日常で感じたいろいろなことがまとめられていて、どれも深く考えさせられた。

その一つに今の時代の人間関係のことについて触れられているものがあつた。そこには家族の関係から話が展開されていて、社会における人間関係の在り様書かれてあつたと受け止めた。そこで大事なことから「重大な寛容の精神」が求められるとあつた。「それぞれが寛容の精神を養い、自分を大切なものとして守るが故に、他に対しても自己と同様に尊重していく姿勢を育てて欲しいと考える」とまとめられていた。そして、その前段では、「お互いよりかかることなく自立し、必要な時に助け合うということが正しい意味でのプライバシーの尊重だろう」とも書いてあつた。

木ノ脇牧師は1942年に奄美大島の名瀬に生まれた。1935年から始まった日本の侵略戦争の真ただ中だ。そして敗戦の後、沖縄と同じように奄美は日本から切り捨てられ、1953年まで米軍の支配下にあつた。古くは、薩摩からも搾取されてきた。そんな奄美で木ノ脇牧師はどんな風に過ごし、育ったのかなあ、と思う。

「重大な寛容の精神」。これがすべての人々の心になれば、人と人の関係も穏やかに結んでいくことが出来るのだろうと思う。今起きている争いや、差別も、いろいろな辛い思いをさせられている人との関わりにおいても、自己と同様に他を尊重する寛容の精神で向き合っていきたいと思う。

木ノ脇牧師のこれまでのご奉仕に感謝しつつ、これからも平和を祈り求めて歩んでいこう。

～ そうぞう ちから
想像する力 ～

グループホーム 主任 米田 守

私の趣味は釣りです。釣りと言っても様々な釣りがあります。海釣りや、バス釣りのようなルアー釣り、溪流釣りなどたくさんありますが、私は海釣りで、その中でも鯛や鰯などタコ釣りも好きです。大きな海をボーっと見ているだけでストレス解消にもなります。

先日、知人に誘われて初めて太刀魚釣りにいきましたが・・・結局一日餌を投げ入れても一匹も釣ることができませんでした。周りを見てみますと10匹、20匹と釣りあげる人たちがいます。釣りはただ餌をつけて待っているという印象もあるかと思いますが、その狙う魚によって仕掛けの工夫、誘い方、魚がいる深さなどを想像し考えなければ釣ることができません。よく釣る人を見てみますと観察、思考、実践、修整といったサイクルで絶えずアレコレして魚にアプローチしています。魚は野生の生き物です。いつでもよく釣れると言うわけではなく全く釣れないときもあります。そういうときは餌を変えてみたり、仕掛けを変えてみたりしています。

趣味と仕事を同じに考えるのもなんなんですが・・・考えてみますと、魚との駆け引きは相手の心や行動を想像して読むことにつながります。焦らず忍耐強く待つということも身に付きました。仕事においても試行錯誤することや、粘り強く続けるということにも活かせるのではないかと考えています。これらのことはどのような仕事にも似ている部分があると私は感じています。相手を知り理解する、相手の趣味、嗜好などを考え対応することで良好な関係をきづくことができると考えます。特に対人支援の仕事は想像力がないとつづけていくことができないといっても過言ではありません。

利用者のことを観察し、考え想像し、実践する。また修正する。また、試行錯誤しながら導き出すプロセスがとても楽しいのです。ただ単に指示されたことを淡々とおこなっているだけでは何の楽しみもなく、利用者との関係性もきづくことができません。仕事でも福祉に携わる職員として、ちいろば会職員として、より良い方法、より良い答えを導き出すために「想像する力」を身につけ、試行錯誤を常に怠らずに行動していきたいと思えます。

—ばくも わたしも みんなが主役— しゅやく

- 質問① なまえ ねんれい 名前と年齢は？
 質問② いま 今はだれとどこで暮らしていますか。
 質問③ かぞく 家族にまつわるエピソードは？
 質問④ がっこう しゅうろうじだい 学校、就労時代のエピソードは？
 質問⑤ さいきん き きょうみ 最近気になっていること、興味があることは？

- ① たつみ ひろのり 辰巳 普宣 38歳です。
 ② りょうしん 3にん 両親と3人で暮らしています。
 ③ ふたり あね けっこん や おし おうじちよう す 2人の姉は結婚していて、八尾市と王寺町に住んでいます。
 ④ にん おい 3人の甥がいます。
 時々みんなで食事します。家族みんな揃うとワイワイと賑やかで僕もうれしいです。
 ⑤ ひがしおおさかふじとしようがっこう にかいどうようごがっこう ちゅうとう こうとうぶ そつぎょう 東大阪藤戸小学校 二階堂養護学校（中等、高等部）を卒業しました。
 ⑤ ちゅうとうぶ とし あし ひざ こっせつ なが あいだ くるま 中等部の時、足の膝を骨折して長い間、車いすでした。
 ⑤ おんがく す とく えんか おきなわ おんがく す えん えんげいかい ・音楽が好きです。特に演歌や沖縄の音楽が好きです。ちいろば園のしろうと演芸会
 では富田さんにギターを弾いてもらい「涙そうそう」を歌いました。
 コロナが流行りカラオケに行けていないので、ヘルパーさんとカラオケに行きたい
 です。
 ・ぬり絵も好きです。休憩時間や家でよくぬり絵をしています。みんなに見てもら
 いたいです。
 ・家族でフェリーに乗って旅行へ行くのが好きです。色々な所へ行きたいです。
 ・僕は、「ちいろば園みんなの会」の会長をしています。目標は全国や海外からな
 かまが集まるピープルファースト大会でみんなの前で司会をすることです。



- ① にしおかつとむ 西岡 務 30歳です。
 ② とう かあ 3にん お父さん、お母さんと3人で暮らしています。
 ③ とう と あさ お父さんとホテルに泊まって朝ごはんのバイキングを
 ④ た おんせん はい とう し あ ひと はたけ とときき てつだ 食べたり、温泉に入ります。お父さんと知り合いの人が畑を
 ⑤ きゅうしよく プールの授業が好きでした。給食のメニューを見るのも好きで、今もよく見
 ⑥ へぐりみなみしょうがっこう へぐりちゅうがっこう じもと たす ともだち ます。平群南小学校、平群中学校は地元だったのでいつも助けてくれる友達が
 ⑦ こうこうじだい せいわようごがっこう でんしゃ の ひとり つうがく ました。高校時代は西和養護学校に電車に乗って1人で通学しました。
 ⑧ そとはんばい い す さんこうちよう ぶんかさい き ことし そとはんばい 外販売に行くのが好きで、三郷町の文化祭とかが気になります。今年
 ⑨ い 外販売に行きたいです。



「それぞれの個性」

ちいろば園職員 宮田 峰泰

2023年度の1年間、私は軽作業2階部門を担当しておりました。そこでは手先を使った難易度の高い作業も行っており、どのような工夫をしたら上手く出来るかを、先輩職員と知恵を出し合う日々でした。ある日は支援道具の自作や掲示物の変更、ある時は座席の配置換え等、それぞれ作業活動がスムーズに流れるよう思案しておりました。その甲斐あってか利用者の皆さんのそれぞれの能力、体調、気分により、作業の進み具合や参加度は変わりますが、ほとんどの方は自分の役割を理解して、作業に取り組んでおられたのではないのでしょうか。

私は、利用者の皆さんにとって、作業を通じて社会に参加して頂く事も重要ですが、それよりも、ちいろば園での日々を楽しく過ごして頂く事が、重要だと思っております。数十年間通っておられる大先輩の利用者の方もいる中で、入職2年目の私など若輩者であり、教えて頂く事の方が多いのが現状です。そんな先輩方が退屈な日常を味わう事無く、一人一人が楽しく過ごせるよう、コミュニケーションを大切にしております。楽しく過ごせているならば、利用者の皆さんの自主的な行動につながり、主体的に活動が出来る環境に近付くのではないかと考えております。

今年度、私は園芸部門の担当となりました。こちらでもキャリアの長い利用者の方が多く、素人同然の私を導いてくださっております。私が知らない事、気付かない事も、先輩方が教えてくださいます。そんな方達にとって、私が楽しく過ごせる存在になれるかどうか。今後自身の利用者の方々にに対する接し方を、客観視しなければならないと思っております。

入職当初、利用者の方々にに対する私の発言は、ともすれば指示や指図のようになっておりました。自身へ向けられた発言に置き換えてみると、何と高圧的なのかと感じてしまう事が多々ありました。現在でも、今の発言や態度はどうであったかと、反省する事頻りです。私は、障害のある方に対しては出来て、障害の無い方にはしない言い方や態度を取ったりする、人によって態度を変える人は、裏表のある信用出来ない人だと思っているからです。その逆もまた然り。

私が障害者施設への入職を希望した際、
「障害を個性だと捉えられますか？」と質問され、
その時は「分かりません」と返答をしました。

入職後のしばらくは、どうしたら相互理解が得られるのか見当が付きませんでしたが、現在では、ちいろば園におられる利用者の皆さんは、個性の塊だと感じています。日々、その個性を良い方向に発揮し、楽しく過ごして頂けるよう、私も研鑽しなければなりません。



「グループホーム利用者の外出について」

グループホーム職員 辰己浩規

グループホーム利用者で、土日利用日にヘルパーとお出かけしたり、通院や買い物に行かれる方が何人かおられます。親御さんの高齢化とともに、今まで親御さんが担っていたことをグループホームが引き継いでいる事が年々増えてきています。親(家族)も利用者也グループホームで安心して暮らしてもらうためにも「気を引き締め、しっかりバトンを引き継いでいかないと!!」と強く感じています。今日はグループホーム『にぬふあ星』で暮らしている S さんのヘルパー利用を紹介したいと思います。

それまで S さんは自宅に帰省する度、お父さんに病院や本屋・リサイクルショップ・ドライブ等に連れてもらっていましたが(たまに旅行も)。しかし、お父さんも高齢で負担が大きいとの事でヘルパーを利用する事になりました。世話人である私と S さんはいつも「薬が〇日までやから△日に病院へ行きましょう。」「散髪は〇〇日に行きましようか?」等私から提案し、「散髪の後、王寺の本屋に行きたい。お昼ご飯はマクドナルド食べたい。」「今度は奈良に行きたい。」等、本人の要望も聞き二人で相談しながら日程・行き先を決めヘルパー事業所に連絡をし、その日を迎えています。最初の頃は緊張していた S さん、ヘルパーさんとの関係性も出来ておらず困り事もありました。でも今ではヘルパーさんとの外出を楽しみにされており、「次は大阪に行きたい。お昼ご飯はマクドナルド食べたい。」等、たくさん提案されるようになりました。私が「毎回マクドナルドはどうかねあ?」と言うと「じゃあ今度はモスバーガーに行くわ。野菜多いから!」という事もありました。

S さんは本当はもっといろんな所に行き、いっぱい美味しいものを食べいろんな経験を楽しみたいのだと思うと思います。しかし限られた時間の中で通院や必需品の買い物にも行かないといけません。それらも自分にとって必要な事として受けとめ納得して行かれています。ヘルパー利用の前日には「今日も一緒に準備しようや」と言ってくれる S さんに私はいつも嬉しい気持ちになります。

最後に、S さんの通っている散髪屋さんはグループホームの近くにあるのですが、みんなで散歩をしていて店の前を通ると気づいた店員の方が必ず手を振ってくれます。S さんもそれに応え、地域で良好な関係ができていんだなあと思えるようになります。これもきっと S さんの人柄がそうさせているのでしょう。今後も S さんの余暇が有意義になるようしっかり支えていきたいです。





しゃかいふく しほうじん かいち いきこうえきじぎょう
社会福祉法人ちいろば会地域公益事業

えいがかい あんない
映画会のご案内

ねんおおさかにしなり ぶたい じつわ もと あつ きょうし せいと ものがたり
1985年大阪西成を舞台にした実話に基づく、熱い教師と生徒たちの物語

かわもとたかひろかんとくさくひん
川本貴弘監督作品：

か KABA ば

ねん がつ にち ど
2024年6月8日 (土) 13:30開演 (開場 13:00)

えん かいがいぎしつ げんてい せき にゅうじょうむりよう
ちいろば園 2階会議室 (限定60席) 入 場 無料

かんらんきぼう じぜんよやく ねが せき あ どうじつ らん
観覧希望は事前予約をお願いします。席に空きがあれば当日でもご覧いただけます。

よやく えん げんざいざんせきやく
ご予約は、ちいろば園 0745-72-1923 まで (現在残席約30)



全部の生徒に優しい先生でいてあげてね

かば 川本貴弘 監督作品 1985年、大阪西成。何にも動じず、何にも屈しない、教師(達)がいた!!
2万人以上が完成を待ち望んだ、実話に基づく《80'熱血青春エンタテインメント》!

1985 年、バブル景気を迎える日本に、世の中の矛盾が集まったような地域があった。大阪西成区。出自、偏見、校内暴力、すさんだ家庭……過酷な環境の中でよりよい明日を夢見て、悩み、苦しみ、しかしたくましく生き方を模索するたくさん子どもたちがそこにいた。彼らと向き合い、正面からぶつかった実在の教師・蒲益男(かば・ますお 2010年に58歳で死去)を知った監督は、2年半にわたる取材を経て2017年にパイロット版を製作。2万人を超える人々からの完成を望む声に押されて企画から7年、ついに映画は完成。ソーシャルディスタンスが叫ばれる未曾有の混乱の今、真の人間同士のつながりとは何か、これからの時代を生きるヒントがこの映画にはある。蒲先生を演じるのは自身も大阪出身である山中アラタ。ヒロインの新米教員を映画初主演となる折目真穂。もうひとりのヒロインであるかつての教え子にNMB48を卒業後、女優として活動中の近藤里奈。共演に木村知貴、石川雄也、四方堂亘らの実力派に加えて関西演劇界から鼓美佳、浅難拓、山本香織らが参加、さらにアニメ『ジャリン子チエ』のチエ役でもおなじみ中山千夏が賛助出演している。



☆後援会費・ちいろばだより年間購読料 (2024年2月1日～2024年3月31日)

ご協力ありがとうございました。

篠原範子、内山繁雄、馬見芳禱教会、文新善、(医)金泉会 金泉年郁、恵愛保育所、高の原教会

以上 敬称は略させていただきます。

※ちいろばだより年間購読料 500円/年 のご協力をお願いします。

昨年度途中でご入金いただいた方々は必要ありません。

※ちいろばだよりの配送停止をご希望の方は、ちいろば園までご連絡ください。

—インフォメーション—

・今年の映画会は、限定60席です。ちいろば園まで事前予約をお願いします。

映画会当日、残席があれば、当日参加は可能です。

5月15日現在約30席、残席があります。

鑑賞を希望される方は、お早めのご予約をお願いします。

・前回のちいろばだよりで募集した「ブルーベリーオーナー」は、継続して受付中です。

選んでいただいた株に実ったブルーベリーをお好きな時にお好きなだけ収穫していただけます。

1株3800円です。(収穫時期は、7月上旬～8月中旬)

ブルーベリー狩りのご案内

今年も7月22日(月)～8月9日(金)の間、ちいろば園ブルーベリー畑でブルーベリー狩りを実施します。

料金は、お一人1時間で中学生以上500円、3歳～小学6年生300円です。

時間内は、摘み取った実は食べ放題です。摘み取ったブルーベリー

のお持ち帰りは、1パック320円です。

お問い合わせとご予約は、ちいろば園ブルーベリー担当まで・・・



KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会

年6回 頒価 50円

連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL : 0745-72-1923 FAX : 0745-72-1924

発行人／ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F